

序

東日本大震災、原子力発電所事故から5年が経過した平成28年度は、未だ多くの子供たちが避難生活を続けており、震災に起因する課題が山積している一方、本県教育の復興が着実に進んだ一年でもありました。

まず、避難指示の解除等に伴う地元での小中学校再開に向けた動きが加速化し、県教育委員会では、ふるさとに根ざした魅力的な学校教育の実現のため、「学校再開支援チーム」を設置し、国や有識者等の協力を得ながら市町村へのきめ細かな支援を行いました。また、平成29年度に本県、宮城県、山形県で開催される南東北総合体育大会2017（インターハイ）の準備を着実に進めるとともに、今後の県立高等学校の在り方について、学校教育審議会での議論を5年ぶりに再開しました。

このような中、県教育委員会では、平成25年3月に改定した第6次福島県総合教育計画に基づき、各種事業を展開しているところですが、計画の後半4年間に当たる平成29～32年度の取組みを加速させるため、今後の教育施策の骨太の方針となる「頑張る学校応援プラン」を平成29年3月に策定し、課題に応じた有効な手立てとなる5つの主要施策を推進していくことにしました。

さて、本教育年報は、平成28年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後も本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

平成30年2月

福島県教育委員会